



令和6年度 若林地区コミュニティ会議

～ 令和6年度 スタート！ ～

<コミュニティ会議役員紹介>

会 長 都築 淳 (若林区長)	副 会 長 高橋 勉 (外根区長)
会 計 伊藤 教彦 (高美町区長)	書 記 山口 秀明 (若林宿舎区長)
会計監査 都築 和彦 (前若林区長)	会計監査 伊藤 篤勇 (前高美町区長)



若林地区コミュニティ会議 新役員の皆さん

「ふれあい、豊かで住みよいまちづくり」

会 長 都築 淳

若林地区コミュニティ会議は「日常の生活の中で世代を超えて交流を深め、自分の生活を豊かで充実した、住みよい地域社会をつくること」を目的として、6つの委員会（青少年育成・福祉・環境・広報・スポーツ・まちづくり）を中心に、多くの活動を計画・実践しております。

今年も地域の皆様に『若林は住みよいまち』と思っていただけるように、取り組んでまいりますので、行事や活動に積極的にご参加をお願いします。



「すべての世代がつながる地域づくりのために」

会 計 伊藤 教彦

はじめまして 高美町自治区長の伊藤教彦です。

若林地区の暮らしを取り巻く環境は、三河線の高架化はじめとして、今年度から大きく変わっていくことと思います。そんな時代こそ、すべての世代（子ども、若者、子育て、現役、高齢者）の人がつながり、知恵を出し合うことが大切だと思います。誰一人取り残さない着実な活動とともに、新たな発想で、新たな活動にチャレンジできる、活力ある若林地区になるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



青少年育成委員会

「わかばやし」

委員長 鈴木 厚志

日々、若林駅高架工事が進み、まちの活性化の期待を感じられるようになってきました。青少年育成委員会では、地域の防犯パトロールや地域の子どもの成長を見守り、『二十歳のつどい』のお手伝いをしています。又、『ふれあいまつり』では、地域の方々が気軽に参加し、楽しめるイベントも行っておりますので、ぜひご参加下さい。時代の変化で多様性を求められます。多くの方と対話を持ってより良い「わかばやし」活動をしていきます。



福祉委員会

「普通の暮らしの幸せの儚さ」

委員長 加藤 悟史

福祉について説明するときに「ふつうの暮らしのしあわせ」という言葉を使うことがあります。なんの変哲もない日常生活、特段に贅沢でもないが衣食住が保障されている状態を意味しつつ、頭文字に“ふくし”が含まれている便利な言葉です。福祉の説明で使いやすいのですが、現実には「普通の暮らし」のいかに儚いことでしょうか。天災人災により昨日までの普通は一瞬で崩れてしまいます。私たちは「普通」の儚さに常に向き合い、助けたり助けられたりして生きていくしかありません。福祉委員会の活動がそのための一助になればと思います。



環境委員会

「環境向上と共に、皆さんと楽しい活動を行います」

委員長 高橋 文雄

環境委員会では、環境に関する活動と共に、木工、農園の専門部会により、地域の皆さまと楽しい活動を進めていきます。逢妻男川は子どもたちが遊べる川。興味を持ってくれるように水質調査、清掃等も定期的に継続実施します。

今年も交流館川探検等で川に入り、みんなで遊びも行います。今年もよろしくお願いいたします。



広報委員会

「コミュニティ活動を地域の皆様の身近に」

委員長 都築 知己

広報委員会では、若林地区コミュニティ会議の各委員会活動を地域の皆様にお伝えしています。地域の活動を知り、地域の人たちとの繋がりが生まれることで、皆様の居場所の発見のお手伝いができればと考えています。

今年もコミュニティ活動を年6回発行の館報を通じお伝えしたいと思います。各委員会主催の楽しいイベントがあります。ぜひ、交流館受付までお声掛け下さい。



スポーツ委員会

「スポーツで健康を」

委員長 樋口 克夫

昨年度は、1年間滞りなく行事が行えました。今年度もコーディネーショントレーニング教室、健康づくりウォーキング、新しくモルック大会など色々な行事を予定しておりますので、爽やかな汗を一緒に流しましょう。

多くの皆様の参加を宜しくお願い致します。



まちづくり委員会

「笑顔あふれる散歩道」

委員長 前田 定利

今年度も交流館周辺の逢妻男川の堤防には、こども園の園児が植えるひまわりや、コスモス、彼岸花、水仙等、四季の花が多く咲くように多くの方と取り組んでいます。樹木の剪定、草刈り、清掃活動をして、地域の方々の笑顔があふれ、ふれあいの出来る散歩道を目指して頑張って活動を続けていきたいと思っております。

ファミリーウォーキングも開催します。そして、多くの方々とふれあいの出来るまちづくり活動を目指します。皆さまのご参加、ご協力をお願い致します。

